



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月6日

上場会社名 株式会社マキヤ 上場取引所 東
 コード番号 9890 URL http://www.makiya-group.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 矢部 利久 TEL 0545-36-1000
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	13,515	△0.3	89	△30.9	156	△20.9	94	△15.3
26年3月期第1四半期	13,559	△2.6	128	△18.1	197	△6.2	111	△6.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 148百万円 (△16.4%) 26年3月期第1四半期 177百万円 (73.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	9.42	—
26年3月期第1四半期	11.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	27,882	13,172	47.2	1,319.39
26年3月期	27,972	13,083	46.8	1,310.47

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,172百万円 26年3月期 13,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,750	△2.7	175	△14.6	300	△10.6	160	△16.2	16.02
通期	55,000	△2.5	640	△10.7	900	△7.1	430	△8.3	43.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	10,540,200株	26年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	556,604株	26年3月期	556,604株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	9,983,596株	26年3月期1Q	9,983,596株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融対策の効果により、企業収益や雇用環境は穏やかな回復傾向はみられるものの、原材料価格の上昇などの不安材料も抱えており、依然として不透明な状況が続いております。

当小売業界におきましては、「競合店の出店」や「価格競争の激化」に加えて消費税増税や電力料金等のエネルギーコストの値上げによる物価上昇等、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、「品揃え」（きめ細やかな品揃え・品質・味・鮮度）、「価格」（エブリディ ロープライスのお手頃価格）、「売り方」（品切れ撲滅、買い易い陳列）、「サービス」（明るい挨拶・親切対応）、「クリンリネス」（清潔・メンテナンス）の徹底強化を図っております。

当第1四半期連結累計期間における店舗政策といたしましては、新業態として「ポテト」と「業務スーパー」を融合させた「マミー業務スーパー」を2店舗開店いたしました。

なお、新規出店等の状況は、以下のとおりであります。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
開 店	マミー厚原店（富士市）	平成26年4月	ポテト厚原店を業態変更
開 店	エスポットバラエティ ひばりが丘店（富士宮市）	平成26年5月	ポテトひばりが丘店を業態 変更
開 店	マミー里吉店（甲府市）	平成26年6月	新規開店
閉 店	ポテト松岡店（富士市）	平成26年6月	店舗建替え工事

①売上高

当第1四半期連結累計期間の売上高は、135億15百万円（前年同期比0.3%減）となりました。「エスポットのフード（食品）部門」「業務スーパー」「生鮮&業務スーパー」は引き続き堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。「エスポットのノンフード（非食品）部門」は、消費税増税の駆け込み需要の反動減により、前年同期を下回る結果となりました。「ポテト」につきましては、業態変更のために閉店したポテト三園店（平成25年6月下旬）、ポテト厚原店（平成25年11月下旬）、ポテトひばりが丘店（平成26年5月中旬）や店舗建替えのため休業したポテト松岡店（平成26年6月中旬）の売上減少分があったこと等により、前年同期を下回る結果となりました。

②営業利益及び経常利益

当第1四半期連結累計期間の営業利益は、89百万円（前年同期比30.9%減）、経常利益は、1億56百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

これは、消費税増税の駆け込み需要の反動による売上減少や電気料金の値上げによる水道光熱費の増加等によるものであります。

③四半期純利益

当第1四半期連結累計期間の四半期純利益は、94百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は278億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して90百万円減少いたしました。

流動資産は、65億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億77百万円減少いたしました。これは、3月の消費税増税の駆け込み需要により増加したクレジット売上未収金の回収により売掛金が1億35百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、212億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して87百万円増加いたしました。これは、システム関連投資により無形固定資産が1億円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は147億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億79百万円減少いたしました。

流動負債は、100億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億27百万円増加いたしました。これは、買掛金が4億17百万円減少したものの、短期借入金が6億45百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、46億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億7百万円減少いたしました。これは、長期借入金が2億82百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、131億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して89百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が23,658千円減少し、利益剰余金が15,417千円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,158,067	1,028,042
売掛金	506,110	371,028
商品	4,673,011	4,831,502
その他	439,630	368,424
貸倒引当金	△385	△284
流動資産合計	6,776,436	6,598,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,375,386	8,527,034
土地	7,080,148	7,080,148
その他(純額)	972,794	800,612
有形固定資産合計	16,428,329	16,407,795
無形固定資産	760,312	860,554
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,652,887	2,632,832
その他	1,369,604	1,397,297
貸倒引当金	△15,013	△15,011
投資その他の資産合計	4,007,478	4,015,118
固定資産合計	21,196,120	21,283,468
資産合計	27,972,556	27,882,182
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,839,926	4,422,502
短期借入金	2,853,936	3,498,957
未払法人税等	256,591	15,865
賞与引当金	160,713	150,444
ポイント引当金	106,844	101,879
その他	1,668,894	1,824,808
流動負債合計	9,886,906	10,014,457
固定負債		
社債	153,500	153,500
長期借入金	2,467,972	2,185,306
退職給付に係る負債	732,930	713,937
役員退職慰労引当金	82,779	85,499
資産除去債務	453,432	461,716
その他	1,111,800	1,095,452
固定負債合計	5,002,415	4,695,411
負債合計	14,889,321	14,709,868

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	10,897,566	10,932,183
自己株式	△446,117	△446,117
株主資本合計	12,733,396	12,768,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	376,976	429,920
退職給付に係る調整累計額	△27,138	△25,620
その他の包括利益累計額合計	349,837	404,300
純資産合計	13,083,234	13,172,313
負債純資産合計	27,972,556	27,882,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,559,831	13,515,506
売上原価	10,712,968	10,567,317
売上総利益	2,846,862	2,948,188
販売費及び一般管理費	2,718,002	2,859,086
営業利益	128,860	89,102
営業外収益		
受取利息	234	172
受取配当金	6,627	7,309
受取家賃	106,313	112,029
その他	37,043	26,858
営業外収益合計	150,218	146,370
営業外費用		
支払利息	19,128	16,118
不動産賃貸費用	58,257	60,948
その他	4,347	2,399
営業外費用合計	81,732	79,467
経常利益	197,345	156,005
税金等調整前四半期純利益	197,345	156,005
法人税、住民税及び事業税	77,799	19,523
法人税等調整額	8,499	42,406
法人税等合計	86,298	61,929
少数株主損益調整前四半期純利益	111,047	94,075
四半期純利益	111,047	94,075

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	111,047	94,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,655	52,944
退職給付に係る調整額	—	1,518
その他の包括利益合計	66,655	54,462
四半期包括利益	177,702	148,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,702	148,538
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。